



住まいの耐震化に関する補助金を増額しました

▶申し込み・問い合わせ 建築住宅課 ☎73-3044



▲補助金の詳細はこちら

申請期限 12月15日(月)まで

- 対象**
- 昭和56年5月31日以前に建てられた住宅であること
 - 耐震診断は、所定の講習を受けた建築士が行うこと
 - 市税などを滞納していないこと

増額の内容				項目	変更前	変更後
耐震シェルターなどの設置工事	簡易耐震改修工事	耐震改修工事	耐震診断(費用の90%)		上限9万円	上限10万3,500円
20万円まで全額	50万円まで全額	100万円まで全額				
▼	▼	▼	▼			
23万円まで全額	57万5,000円まで全額	115万円まで全額				

大地震による家屋倒壊などの被害を減少させるため、耐震診断や耐震改修工事などの費用に対する補助金の上限額を増額しました。



市公共施設等総合管理計画に基づく公共施設再配置実行計画を公表します

▶問い合わせ 公共施設再配置推進室(管財課内) ☎73-3003

施設名称	利用概況	再配置の方針
財田中小学校跡	小学校	マニュアルに基づき、財産処分に向けた手続きを進めます。
豊中小学校(仮称)	小学校	令和8年4月の開校に向け、昨年度に引き続き整備します。
松崎地区就学前施設(仮称)	子育て支援施設	令和8年4月の開園に向け、昨年度に引き続き整備します。
JR高瀬駅トイレ	その他	今年度、JR四国と協働で、外構を含めた整備工事を行います。
財田町土づくりセンター	堆肥処理施設	4月に条例廃止を行ったため、マニュアルに基づき、財産処分に向けた手続きを進めます。



▲その他の再配置実行計画はこちら

※掲載している実行計画は抜粋であり、再配置の方針は4月1日現在のものです。



JSTS-D基本ロゴマークを取得しました

▶問い合わせ 産業政策課 ☎73-3012



▲詳細はこちら

JSTS-D基本ロゴマークとは

『日本版持続可能な観光ガイドライン』(観光庁策定)に基づき、取り組みを実施する地域を示すロゴマークです。地域内外にロゴマークを示すことで、地域ブランドの向上や国際競争力の強化が期待できます。

持続可能な観光地の実現をめざして、ガイドラインに基づく取り組みに挑戦しながら、ロゴマークを活用し広く観光PRをしていきます。



人権擁護委員が委嘱されました

▶問い合わせ 人権課 ☎73-3008

町名	委員名
高瀬町	岡和敬(新任)
山本町	高木幸昌(新任)
三野町	大平由美
詫間町	林秀昭
	岸本章敬(新任)

7月1日付けで、次の人が法務大臣から人権擁護委員に委嘱されました。(敬称略)



Kazunari Tanimura

高松市出身で、大学進学を機に上京。今年の6月下旬まで東京都に在住し、人材会社でグローバル人材の就職支援を行ったり、デイサービス企業で介護福祉士として働いたり、さまざまな分野で知見を広げてきた。小学3年生から野球を続け、高校球児のOBで結成されたマスターズ甲子園香川県大会を主催し、出場もしている。

子どもたちの地域格差を埋めるため、部活動の地域展開や新規部活動の立ち上げに取り組む地域おこし協力隊として、6月25日(水)から、新たに谷村一成さんが着任しました。

みとよ探究部やみとよマネー部、メタバース部などの活動を通して、子どもたちの

“高松市から上京し、勤務していたグローバル人材会社では、高度人材と呼ばれる知識や技能に長けた外国人や海外の大学に通う日本人の就職支援などを行っていました。海外の大学に通う日本人は、半数以上が関東出身で、『日本の大学に進学することが当たり前』と思っていた自分にとっては、驚きでした。こういった機会が多くある地域とそうでない地域との格差も実感しました。”

多様な知見を『放課後改革』に地域おこし協力隊に

谷村 一成さん

実際に感じた地域格差を埋めるために

自身のつながりを生かして

“9年前に、在学中に学生仲間と共に『NPO法人みんなの進路委員会』を立ち上げ、年間に中・高約80校で、探究型留学の支援や出前授業などを行っています。地域おこし協力隊の活動の中でも、子どもたちが主体的に活動できる”

三豊市は、人口減少が進む中、地域の弱みを逆手に取り、子どもたちが主体的に考え選べる先進的な取り組みを進めているところに惹かれました。私もその一助になることができればと思っています”



▲任命式で、山下乡長から「学校と社会教育を絡めて子どもたちの選択肢を増やしてほしい」と期待の言葉が贈られました



▲みとよ探究部で、子どもたちと交流

▶問い合わせ 学校教育課 ☎73-3131